

ダンスプロジェクト
2024

歌劇「蝶々夫人」より

蝶々夫人



2024年 10月 5日(土) 19時半
10月 6日(日) 13時 / 17時

神楽坂セッションハウス

蝶々夫人

2024年
10/5 (土) 19:30
10/6 (日) 13:00 / 17:00

歌劇「蝶々夫人」より

出演

ピンカートン 近藤良平
 蝶々夫人A 佐藤麻琴 蝶々夫人B 遠藤春菜
 人形蝶々夫人 松永真紀 人形黒衣 坂東扇菊
 バレエ蝶々夫人 内山陽瀬
 ゴロー 山本光二郎 ヤマドリ侯爵 鎌倉道彦
 芸者/兵士 藤田善宏 黒須育海、近藤燈子、竹之下たまみ
 芸者 深田愛衣
 女中 蓮子奈津美、秋元麻友子

構成・振付・演出 坂東扇菊
 振付 近藤良平
 音楽 平岩佐和子

「蝶々夫人」の物語は明治時代の長崎を舞台に、実話を元にしています。原作はアメリカ人のロングが小説として発表、それを元にイタリア人のブッチーニがオペラとして作曲しました。また、その先行作として、フランスの作家ビエール・ロティの小説に基づく、アンドレ・メサジエ作曲の歌劇があります。このように様々な国の巨匠たちが挑んできた「Madam butterfly」。ここに日本にしかない魅力が潜んでいるのかも知れません。この時代、欧米列強国を相手に、開港したばかりの港には、きつと他にも、蝶々さんのような芸者は何人も居たことでしょう。そのような複数の芸者や軍人を登場させ、時代的背景を増幅させました。時代考証などの枠組みを取り払い、しかし、明治という時代の匂いを残したいと試みました。蝶々さんの無垢な愛がふたたび、この舞台に花咲きますように。坂東扇菊



照明 石関美穂 音響 上田道崇 舞台監督 鍋島峻介 配役映像 原綾香
 衣装・美術プラン 坂東扇菊 振付助手 伊藤直子 指導助手 名取かおり 宣伝デザイン 石関美穂
 主催 一般社団法人セッションハウス企画室 協力 NPO 舞台21、ROCKSTAR 有線会社 助成 芸術文化振興基金

ダンスブリッジクオリティを際すダンス旅—
 ダンスを見る入口に3つの橋を架け
 ました。クオリティ=答えはそれぞれ。
 どの橋を渡るか、そのダンス旅でたど
 り着く風景がそこにはあります。

- ①「蝶々夫人」坂東扇菊—日本舞踊の越境旅
2024年 10月 5日(土) 19:30 10月 6日(日) 13:00/17:00
- ②「トーキョーの阿国」伊藤直子(マドモアゼル・シネマ)—ダンスシアターの時間旅
2024年 12月 21日(土) 19:00 12月 22日(日) 13:00/17:00
- ③「Another side of PK」近藤良平—身体表現の自在旅
2025年 1月 11日(土) 19:00 1月 12日(日) 13:00/17:00

料金 (税込)

一般前売 3,500円
 学生 3,000円
 子ども 2,000円 (小中)
 当日券 4,000円
 通し券 9,000円 (3公演)

ご予約・お問合せ 神楽坂セッションハウス
 mail@session-house.net
 https://session-house.net/live_news.html



神楽坂セッションハウス
 〒162-0805 東京都新宿区矢来町158

●コインロッカー ●ロウン ●禁煙

●RITA ●AFOGATO ●神楽坂駅 出口1b ●ファミリア ●コート

●東武東上線 ●神楽坂駅 出口2 ●2 ●リゅうほう ●かもめボックス ●神楽坂駅 出口1a ●1a ●1b ●1c ●1d ●1e ●1f ●1g ●1h ●1i ●1j ●1k ●1l ●1m ●1n ●1o ●1p ●1q ●1r ●1s ●1t ●1u ●1v ●1w ●1x ●1y ●1z

●早稲田 ●早稲田通り ●池袋

●AKOMEYA TOKYO ●ペローチェ